

VOICE

大阪労山救助隊より 2023 年度雪山搬出訓練のお知らせです。

下記要領で雪山搬出訓練を実施します。

参加をご希望の方は添付フォームより申し込みをお願いいたします。

開催日：2024年1月28日(日) 8時～14時頃

集合場所：武奈ヶ岳正面谷のトイレ付近（イン谷口上部）の駐車スペース

<https://maps.app.goo.gl/cKmj7R612Ao5PSo57>

集合時間：8時

内容：雪崩事故発生後の捜索・掘り出し、梱包・搬出。ほか

参加対象：救助隊員に限りません。労山会員ならどなたでも参加できます。

ただし、参加内容につきましては経験・技量に応じてこちらで判断させていただきます。

締切：2024年1月21日

申し込みフォーム：<https://forms.gle/RAgUy3f6XL9GYUDV9>

大阪労山クラブ交流会 報告

組織部

日程:2023年11/18~19

会場:滝畑ふるさと文化財の森センター

参加者:日帰り3名、宿泊21名(13会)



▲ 山頂のススキ

<11月18日(土)>

■食材関係の買い出し

スタッフは三日市町駅 12時に集合し、食料品や飲み物(ビール等)の買い出しを行う。

曇みぞれの天候の中、滝畑へ向かう。(棟内で昼食)

車は棟の中庭と湖畔の駐車場に分かれて駐車。

■オリエンテーション 15:00 集合 ~15:30 ホール

職員から寝具のしき方・たたみ方の説明を受ける。

■報告会 15:30~16:30 研修室

- ・交流会の行程説明
- ・加齢と登山(ハイキングリーダー学校報告:浜田、筋トレ:下窪)
- ・トムラウシ報告(水口)
- ・ニュージーランド報告(富永)



▲報告会

■夕食準備 15:30~自炊場(報告会と並行して実施)

- ・食事はカレー1鍋、ご飯1羽釜 野菜サラダの盛り合わせ
- ・野菜類の下準備をスタッフ食事担当・ももんがの方で。
- ・かまどの焚き付けや24人分のご飯4kgを羽釜で炊いた。



※水量や火加減は滝上さんの指導による。

コメ4kgに水4000mLと1対1の割合で炊飯。浸していたので上手く炊き上がった。少しおこげがあり、オニギリにしたら美味しかった。

■夕食 16:30~18:00 炊事場に集まり、一緒に盛り付け

- ・食事は、予定はテラスの下だったが、離れていて寒かったので炊事場に椅子・机を並べて暖を取りながら電灯の下で食事。
- 少し寒かったが、ビールも飲めた。



チキンカレー&野菜サラダ

■交流会 18:00~20:00 研修室

- ・台湾報告とデジタル登山について(大見)
- ・自己紹介 全員
- ・ウクレレ演奏(女性3人)で、皆で合唱(島人ぬ宝、ふるさと)
- ・山のクイズ(下窪) 7問
- ・最後に「今日の日はさようなら」をランタンの灯りの下で合唱



▲交流会

■入湯 20:00～21:00

ほとんどの方は、入湯をやめて交流していた。

■第2弾 交流会 21:00前～スタッフの部屋で有志の交流会を静かに行った。



◀ 集合写真

<11月19日(日)>

■起床 6:30

部屋のかたづけ・掃除・朝食の準備・

■朝食・出発の準備 7:00～8:30

食パンドック・スープ(2種類)・コーヒー紅茶

▲食パン焼き担当

▲食パンドック担当



■各交流山行の説明・閉会 8:30～ ホール

ホールに集合し、閉会式を行った。

■部屋の点検 登山パーティ等出発 9:00～

①岩湧山登山 往復 10名 L:佐藤

登山口 9:40～頂上 11:40～登山口 13:40

一時に雹が降った前日と打って変わったように好天で気温も上がり、岩湧山に続くダイヤモンドトレイルに老若男女が列を成すほど、中にはノースリーブへそ出しルックのヤマガール?も、

枯れすすきに見事なほどに覆われた山頂付近は風もなく丁度昼時と相まってか、200人程のハイカーが、弁当を広げながら大阪平野、大阪湾の景色を楽しんでいた。



▲すすきの大草原

②岩湧山～紀見峠 縦走3名 L:下窪

登山口 9:38～頂上 11:20～紀見峠駅 13:45

③朝帰り 4名+1名

9時前に車に4人が同乗して出発。1名は始発のバスで。

■退所手続き ダム周遊パーティ出発 10:00～

④滝畑ダム周遊 3名 L:浜田

センター10:00＝滝畑ダムサイト駐車場 10:15～登山口～

右回りで湖畔の道を山の話をしてしながら散策～駐車場 11:30＝三日市町駅 12:00



▲岩湧山頂上

＜大阪労山クラブ交流会についてのアンケート集計結果＞

アンケート(回収者)の年代

19名(男性11名 女性8名)

30代—1名 40代—2名 50代—4名

60代—7名 70代—4名 80代—1名



1. 報告会は参考になりましたか。

- | | | | | |
|-------------|---------|--------|-------|--------|
| ①加齢と登山 | 大変満足—7名 | 満足—6名 | 普通—3名 | やや不満0名 |
| ②トムラウシ報告 | 大変満足—5名 | 満足—9名 | 普通—2名 | やや不満0名 |
| ③ニュージーランド報告 | 大変満足—4名 | 満足—11名 | 普通—2名 | やや不満0名 |
| ④台湾報告 | 大変満足—7名 | 満足—7名 | 普通—2名 | やや不満0名 |

2. この度の交流会はいかがでしたか。

大変満足—2名 満足—12名 普通—5名 やや不満0名

3. 毎年クラブ交流会を定例化したら参加しますか。

参加する—14名(泊でもいい—9名 日帰りがいい5名) わからない—5名

4. 交流会参加を希望する方へ、どちらを希望しますか。

屋外キャンプ施設—1名 (○泊り—1名 ○日帰り)

屋内施設 —11名 (○泊り—9名 ○日帰り2名)

どちらでもいい —5名 その他—1名(屋内 屋外ともどちらでも選択できたらいい)

5. 交流会でテーマにしたい内容があれば、ご記入ください。

- ・デジタル山行。(男性)
- ・山行報告。(男性)
- ・大阪労山の発展について対話できればよい。(男性)
- ・海外遠征の話が印象的でした。台湾へ行きたい。(女性)

6. 今回の交流会で印象に残ったこと、改善してほしいことなどあればご記入ください。

- ・ウクレレ演奏。(女性)
- ・ご飯の準備ありがたかった。(女性)
- ・翌朝の体調を考えると朝食は宿泊先で作るのにしたらどうか。(女性)
- ・皆さん翌朝は体調のこともあるので、朝食だけでも誰かが準備するのはせめて宿泊先から出されるのにしてはいかがでしょうか。(女性)
- ・駐車場は施設に停めたい。(女性)
- ・朝食作るのが厳しい。(女性)
- ・トレーニングについてももう少し話してほしかった。(男性)
- ・コミュニケーションとる時間をもう少し増やしてもいい。
- ・夕食作りの時間など、タイムスケジュールの余裕が必要と感じました。
- ・皆で歌を歌ったこと印象的でした。(女性)
- ・クイズ大会が面白かったです。(女性)

2023年11月30日 大阪労山理事会議事録

—— 事務局 ——

●カレンダー発注済…この理事会で配布済 45

当日欠席のつりばし・OARはBOXに投函（未収金）

●大阪労山総会 2024年3月10日（日） 国労会館

総会へのスケジュール案

1) 総会資料

- ・総会資料 各部 議案書第一次案 提出 1月15日(金) (昨年は1月13日)
- ・常任理事会 1月18日(木)
 - ①代議員登録と2月代表者会議
- ・3月総会の招請状の作成
 - 議案第一次案印刷 代表者宛名カードの作成
- ・総会資料 初稿完成 1月24日 (昨年は1月25日)
- ・理事会 1月25日(木) 第一次案議案を配布したいところ
- ・議案書第一次案+①を発送 1月31日
- ・常任理事会 2月15日(木) …議案書最終案の討議
- ・代表者会議 2月22日(木)
- ・常任理事…来年度は多人数のクラブに入ってもらいたい

2) 会計

- ・事務所使用料の請求 1月28日(日)
- ・各部 各種学校会計 1月31日締め
- ・決算/予算書一次案作成 2月15日(木) 常任理事会

●障登 PT 山下さんより

1) 中高年者の聴覚障がい者向けの講習会を開きたい。

内容は兵庫労山の「登山の筋力測定と講習」のように、

- ・中高年者の”山歩き”に必要な体づくり
- ・中高年者のため体カトレーニング

講師はどなたでもいいので、お願いしたいです。いかがでしょうか。

希望は2月 月一金か、または、1/27(土)13-16 たつの子会講演会(今は講師まだ決まっていない)に入れても可能。

会員だけでなく、非会員を募集するつもりです。

2) 雪山入門ハイキング日程は2月(2/17(土))を予定

—— 組織部 ——

1. 第12回大阪労山クラブ交流会 11/18~/19 滝畑ふるさと文化財の森センター

参加者：25名(13会)

交流会は下記のような内容で実施

18日<集合> 15:00 オリエンテーション

<報告会> 15:30~16:30

- ・加齢と登山（ハイキングリーダー学校・兵庫の筋トレ報告）
- ・海外等の登山（台湾、韓国、トムラウシ等の山）
- ・デジタル登山（安全登山でのデジタル技術、情報発信方法について）

<食事会> 16:30~18:00 自炊

<交流会> 18:00~20:00 各会・各自の紹介、歌、クイズ等 終了後に有志交流会（21:00~）

19日<食事会>

<山行&周遊>岩湧山登山&岩湧山往復コースとダム周遊コースの3つに分かれて行動する。

2. 11月末の組織数の提出 大阪労山ニュース11月号に掲載中

現在、5会から組織数提出がありました。×切は12月14日（木）です。

この組織数が各会の2024年度の連盟費の基準になりますので、良く話し合って提出して下さい。

—— 女性委員会 ——

◇10月15日（日）長距離縦走タイトレ ・・女性委員会として乾燥野菜の協力
豚汁応援隊スタッフ ・・参加者： 3名

川上さんが責任者であったが、今後は担当の会が責任者として動けるよう『豚汁づくりの手順』『食材と分量』等のマニュアル作成を進める=来年度の第一回実行委員会（例年6月）が始まる前、5月には作成

◇10月29日（日）こどもの冒険学校クライミング体験会（第二回）

人数・対象者： 子ども10名程度（小学校1年生から中学3年生と保護者） ⇒ 参加者名12名ぐらいで大人も子どもも楽しんでた。12:30解散後はスタッフが楽しむことで良かった冬の冒険学校のピラ配布で興味持った方がいた。

場所： クライミングジム 「レベルテン」 駅近でよかった

参加スタッフ： 1名

—— 子どもの冒険学校 ——

●クライミング体験会 10月29日（日）レベルテンにて

子ども8人（男の子6人 女の子2人） 大人3人 スタッフ8人 計19人
3時間みっちり楽しみました。その後スタッフは残ってクライミングトレーニング。
来年は春・秋2回実施したいです

●冬の冒険学校 1月28日（日）イン谷にて

今のところ 子ども6人の申込み有り

—— 自然保護委員会の報告 —— 12月号 労山ニュース

★ と き：2023年 11月9日（木）

★ ところ：**Zoom**

★ 議 題

1. 憲章の実践 11月15日現在 沢村：sawadesu@ares.eonet.ne.jp までお願いします。

+ 鳥獣・らいちょう目撃レポート

目撃日時、場所、天候と動物の様子をメール下さい。写真があれば最高です。

ただし、標高500m以上での目撃に限ります。 ()：前期

らいちょう 18件(7件) 鳥獣 4件(7件) 昆虫 1件(0件)

9/16、たつのこ山の会の佐久間さんが太郎平小屋近くでライチョウを目撃、激写に成功。

9/17、同じく佐久間さんが黒部五郎岳近くでライチョウを目撃、激写に成功。

9/18、同じく佐久間さんが三俣蓮華岳でライチョウを目撃、激写に成功。

9/18、同じく佐久間さんが水晶小屋近くでライチョウを目撃、動画激写に成功。

写真判定では6羽

上記の3件はいきものログに登録

環境省・いきものログ投稿：今年・**14件** 累計・**64件** 全投稿数・**161件**

+ 倒木対策 12件(5件)

登山道を塞ぐような倒木は、登山者にとって危険、また踏み荒らしの原因です。

除去および頭突きしそうな木にはテープで表示を！自治体および私に連絡してください。

泉州労山の澤村が10/13、雲山峰ハイイクで倒木4本をノコギリ処理

雲山峰と山中溪駅間は倒木の宝庫、2018年台風の後遺症が未だ癒えぬ状況。

+ 定点写真観察活動(山岳自然の異常現象とかゴミ問題など) 4件

11/5、泉州労山の澤村が御池岳ハイイクで奥の平近くのシカ対策用柵2箇所の破損を目撃

滋賀県環境保全課に写真を添付して報告し、シカ食害に遭っている植物名を質問。

回答：御池岳の防護柵について、滋賀県では三重県と鈴鹿生態系維持回復協議会を設置して、鈴鹿国定公園で生態系維持回復事業を実施しております。

御池岳では鹿の食害による、植物群落の衰退や外来植物の進入、表土の流出が進行していることから現在の植生群落の維持または回復をはかるため、**ササ原と周辺の植物群落を防護柵で、オオイタヤメイゲツ林を保護ネット**で保全をしています。

ご連絡および柵の補修とご協力いただきありがとうございます。

3. 交流を兼ね自然保護観察会などを開催

11月23日、和泉葛城山ブナ観察会を開催 講師：元高校教師 田中

集合場所：南海本線 岸和田駅前バス停 9：40 10時のバスに乗車

コース：塔の原～和泉葛城山～蕎原 15：52発のバスに乗車

参加申込数：9人 + 太田

4. その他

近畿ブロック自然保護委員会 10/29 友が島ゴミ調査および観光

参加予定者数：大阪・5人 総勢・22人

荒天によりフェリー欠航のため中止 ⇒ **来年リベンジの予定**

—— 平和と登山 ——

第53回戦跡ハイキング 11月25日（土）

天候等の諸事情で予定を変更して「舞鶴赤レンガパーク&大江山山系杉山～宇野ヶ岳」を実施しました。

参加者：吹田3名、きたろう2名、くまごろう1名、泉州1名

天気予報は雨のち曇りでしたが、ほぼ一日、時々晴れ間がみられるなど天候に恵まれました。舞鶴赤レンガパークの建物は1902年ごろに建てられた物レンガの建造物の持つ魅力や歴史に触れることができました。壮大に8棟が並んでいる赤レンガ館、港にレンガ館と潮風が出会う町の雰囲気伝わって良かったです。杉山～宇野ヶ岳は宮津エコガイドの中川さんに案内していただきました。約100本の巨大杉群に圧倒され、宇野ヶ岳から宮津湾、天橋立への眺望が素晴らしかったです。歴史ある街歩き、自然豊かな大江山山系の山歩き、7名の楽しい丹後の一日でした。

—— 教育遭難対策部 ——

(1) 10月の理事会で 遭難救助金からの支出が承認

- ・不動岩の落下危険岩の処置費用の件 1万円 一支払い済み
- ・前鬼川ボルト設置費 6万円 —— ボルト購入費を支出予定

(2) 冬山連絡会（終了後、事務所で忘年会をします）

日時：12月21日（木）19：30から（理事会終了後） 場所：ZOOMと連盟事務所

内容： 1)「冬山の気象」（高田さん） 2)「冬山の事故」（中川さん）を予定

(3) 安全対策基金の

- ・2023年度は各学校に支払い済み
- ・2024年度分申請 各学校より決算と実施がわかる資料（募集ピラ）を収集中

(4) 救助隊

- ・11月11日 ドローンを使った捜索訓練を実施。参加現状66人 @大岩岳周辺
ドローンで遭難者の上空に行きココヘリの信号を受けて位置情報（北緯、東経）を入手
その情報を元に地図アプリで現場に行き、ココヘリ親機で現場を捜索。誤差は100m程で、5分で発見できた。皆 その威力を実感。

- ・1/28（日）イン谷 雪搬出訓練（11月号ニュースp2）

(5) 岩登り体験教室 11月12日 3回目の実技を終了。

(6) 初級冬山登山学校

現在5人の応募有り。 申込み後のキャンセルも多発（レベルが高い、体調不良）

長距離縦走まとめ（労山ニュース12月号参照）

金剛バス…12/20 営業終了。水越峠、千早ロープウェイ前が廃止 ダイトレの運営に支障が出

る

主な意見)

ももんが村上…金剛バスについては公共サービスが始まるという代替バスの情報を得た。

確認したい

クラブ交流会の感想…村上～(食事など会として奮闘したことについて聞かれ)計画や準備がしっかりしていて手伝うのもスムーズだった

つりばし三木野～久々に連盟の活動に参加して楽しかった。交流も有意義だった

事務局大見～中川顧問から未踏峰プルピチャチュ登頂42周年で経験を受けつぐためにも交流会を計画している。

JRの路線廃止が続いている。乗って残そう関西線という感じでなるべく公共交通を使つての計画を意識したい

志峰会・中尾～ハイキングセミナーについて12/6開校。5人応募。ココヘリの優位性について報告があったが、遭難しないことがなにより大事。

救助隊が遭難対策の啓蒙の先頭に立ってもらいたい。救助隊の創立に関わっていた経験からそういった啓蒙は大事だ。

くすのき・田中～ダイトレの総括まとめが報告された。クラブ人員による参加率表は2-3年前1000人を超えていたときのもの。できれば正してほしい。それもあるが、総会や議案で大阪労山の柱になる行事だと位置づけて総会で確認したのに参加率0%というのは問題がある。

その他…先月理事会で報告した「永年功労賞」など各会が気をくばって申請をすることを確認した

以上。文責：高橋明代

大阪労山「山の教室」

今年度は徐々に事務所で対面での講座を復活させていきます。また可能なものはリモートも併用していきます。事務所だけの座学、リモートのみ、事務所とリモート併用、実技の4種類になりますのでご注意ください。受講履歴は事務局で管理されていますので、各会の中で受講履歴の把握等が必要であれば下記アドレスに遠慮なくお申し付けください。

kyouikusoutai@osaka-rousan.com

◆1月の講座

➤ 山の病気予防 座学

日時：1/16（火）19:30～21:00

場所：連盟事務所

費用：500円

申込：<https://ws.formzu.net/dist/S17893713/>（12月から）



山で仲間がけがをしたりや病気になったとき「何をしたらよいかわからない」「かえって悪化させるかもしれない」との思いから応急手当に踏み切れないということがあるようです。この講習会では低体温症・熱中症・凍傷・高山病について、講師自身や仲間の体験をもとに予防と応急手当の実例を紹介し、あわせて最近の知見についてご紹介します。

講師：田中正視 大阪府自然環境保全指導員（元高校理科教師）

参加者：八尾・5人、豊中・4人、泉州・3人、雑木・2人 計・14人+先生

田中先生のお話は、予想通り、草花の紹介だけではなく、関連する話題をふんだんに織り交ぜたいへん楽しいものでした。下記は、参加者の感想文を参考にまとめました。

●和泉葛城山のブナ林は、日本で第1号に国の天然記念物に指定されたものでかなり価値がある。

朝ドラ・らんまん：牧野富太郎に懇願したようです。

ブナを保全するために様々な方が関わりいろいろな取り組みをしていることが分かった。ブナ1本1本に番号が付けられ、巡視管理が行われ、天然記念物（コアゾーン）の周辺森林（バッファゾーン）を含む保全、ブナ林の保護と増殖のための調査活動などである。近年では、努力なしでは森林は守られないうことである。そんな人々の努力を台無しにしたのが2017年、樹齢300年この辺りでは最古のブナの大木の伐採である。それも天然記念物であるブナを、文化庁の許可なく、、、ひどい話である。

Yahoo記事：和泉葛城山ブナ伐採、朝日新聞をご覧ください。

ぶなは、高さ20cmまで育つのに約20年、1mほどになるには約40年要する

ぶな⇔シデの樹皮の違い。シデは縦模様、ぶなは地衣類（細菌みたいなもの）が共生している。

ぶな⇔ミズナラの葉っぱの違い。即脈の先端は葉のふちの谷にいたる。 図-①をご覧ください。

●タラヨウ(多羅葉)は「はがきの葉」言い、葉の裏を爪楊枝でひっかくと黒くなるので文字が書ける。

切手を貼り住所を書くと自宅に届いた、とのこと。 写真-①をご覧ください。

●リスのお話。松ぼっくりの鱗片の根元に小さな黒い種が2つあって、それをリスが食べる。食べた後エビのしっぽと言う。 写真-②をご覧ください。

●笹の葉っぱの裏はモフモフ、寒さから守るためだ。

●山頂近くにカメラを設置すると、しかが写っていた、とのこと。今は冒険者がひとり和泉の山にやっけてきているがそのうち、兄弟たちもやってくるのでは？これは心配。

●この泉州あたりの地質や地形の話があってびっくりした。大阪北部より新しい中生代から白亜紀の地質で、海から押されて隆起し、雨風でけずられたので、和歌山川は急斜面で谷が深いそうです。

●宿の谷の上部の明るい斜面はニリンソウの宝庫。

図 - ① 即脈が違う

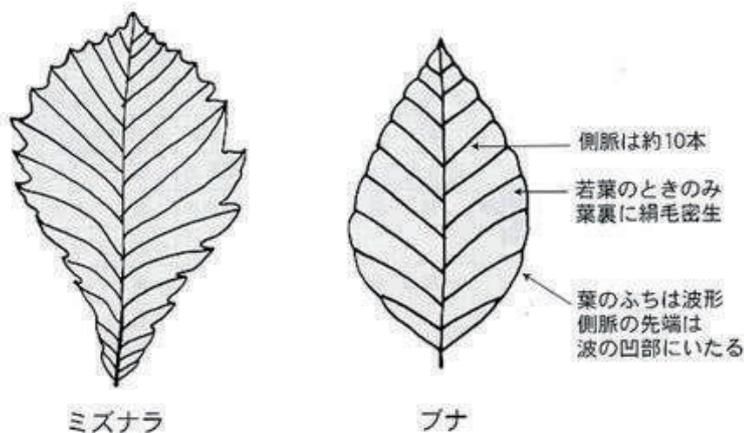


写真 - ① 「はがきの葉」

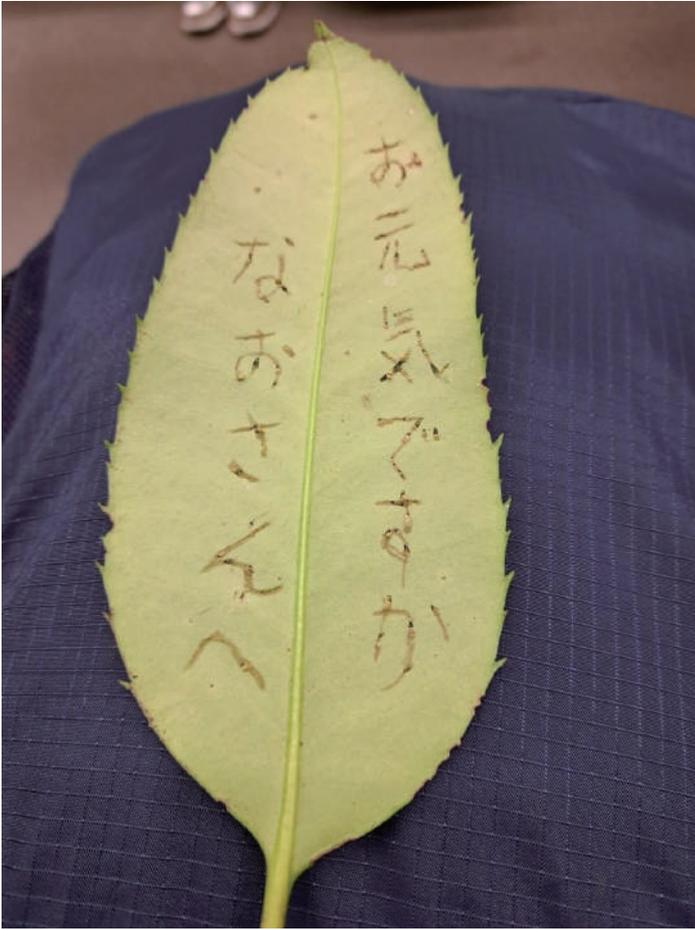


写真 - ② エビのしっぽ



第53回戦跡ハイキング 11月25日(土)

舞鶴赤レンガ記念館～大江山山系杉山・宇野ヶ岳

第53回戦跡ハイキング、天候等の諸事情で行程を変更して「舞鶴赤レンガパーク～大江山山系杉山・宇野ヶ岳」を実施しました。参加者：吹田3名、きたろう2名、くまごろう1名、泉州1名 計7名、天気予報は雨のち曇りでしたが、ほぼ一日、時々晴れ間がみられるなど天候に恵まれました。舞鶴赤レンガパークの建物は1902年ごろに建てられた物、レンガの建造物の持つ魅力や歴史に触れることができました。壮大に8棟が並んでいる赤レンガ館、港にレンガ館と潮風が出会う町の雰囲気伝わって良かったです。杉山～宇野ヶ岳は宮津エコガイドの中川昭一さんに案内していただきました。100本以上の巨大杉群に圧倒され、宇野ヶ岳から宮津湾、天橋立への眺望が素晴らしかったです。歴史ある街歩き、自然豊かな大江山山系の山歩き、7名の楽しい丹後の一日でした。(大西清見)

戦跡ハイキング(赤レンガ記念館と宇野ヶ岳～杉山)の感想

参加者(7名)大西清見・園敏雄・石野明子・日置勲 泉田靖子・夷愛子・又吉千智
25日、予定通り6:45分大阪駅で集合し、一路宝塚～舞鶴方面へ。曇り空の為か? 猛暑の影響か? 車窓から見る紅葉は色づき悪くイマイチである。ところが、舞鶴自動道に入ると青空も見え始め、一面自然林の里山は見事に全山紅葉し色づきも良く右に左にと楽しむ事が出来、素朴な里山の美しさを改めて見た気がした。

9時過ぎ、楽しみにしていた念願の舞鶴赤レンガ記念館着。明治36年、フランス式レンガ工法での建築物との事。100年以上も前にこれだけ精密で立派な建築物が人力で作られた事にも驚くが、これ程美しい状態で維持管理されていることにも感激したし、足元には魚雷でも運び込まれたのだろうか? 昔のままの線路が微かに残っているのにも歴史を感じ、人の力の偉大さを思い知った一コマだった。

昼食は「とれとれ市場」で、イカのゲソやサバの丸焼きを初めて会ったメンバー7名で分け分けして同じものを食べたのも楽しい思い出。

昼食後は、青空で光る美しい日本海沿いを一路ガイドさんの待つ「普甲峠」へ。峠でガイドの中川さんと合流し、鍵付きの林道を終点まで登る。ところどころで参勤交代時に歩かれた道!! 嫁入りの時に山越した道!! はたまた万葉の時にも歩かれたであろう道!! など説明を受け、林道終点からは数百年は経つであろう大杉の数々の説明を受けながら、苔むした静寂な山歩きを楽しんで宇野ヶ岳(694m)へ。宇野ヶ岳山頂から見る天橋立は、名前の通り湾に橋を架けるようで見事だった。その後、オマケで風穴を見て杉山(697m)へ。

地元の方々が、今も歴史ある山を守るために鹿よけを作り、倒木の処理や整備など地道な作業を続けられていることに頭が下がり感謝の念を伝え4時半過ぎ、上宮津を後にした。

歴史の重みと同時に、近年話題の「鹿の害」で山肌がむき出しになり自然が荒れる様子を目の当たりにし、考えさせられる一日となった。(吹田芳山/泉田靖子)



宇野ヶ岳山頂にて



案内してくださった中川昭一さん（1945年生）

上宮津・杉山ガイド部会のホームページでの中川さんの紹介文です

私がこどもの頃から親しんだ杉山。近年ここに林道が開設され、苦勞なしに山中に入ることができます。ここには、300年～400年の樹齡を誇る天然杉の群落が残り、林道の開設で日当たりが良くなった法面には、新たに草木が芽吹き、杉山の生態系を縮図化したような状況になっています。最近になって、ここに生息する動植物の名前を覚えたこともあり、私なりにこの杉山への愛着心が大きく膨らんでいます。私の心の内を多くの方に届けたいと思うこのごろです。（上宮津・杉山ガイド部会）

落ちるといふこと

OWCC 中川和道 20231214

受験シーズンに「落ちる」とは不謹慎だが、登山での話だ。ぎょっとした体験、今回はこれを考える。

1. 斜面滑落は空中墜落よりマイルドか？

夏の雪渓で足を滑らせ、そのスピードの大きさに肝を冷やした。滑落を止めようと雪面にハンマーを打込んだら、止める衝撃の大きさに手がしびれた。硬いけど、たかが30度くらいの雪渓だ。それを斜めに滑り落ちた。空中落下ではない。だから確実にマイルドな落下になるだろうとの直感(日常感覚)だ。だがそれは、何と、幻の願望にすぎず、えらく大きな衝撃になった。一体なぜだろう？

高校の物理で習った落下の法則がきれいに成り立つ条件はそろっている。右図を用いて、空中墜落と斜面滑落の衝撃の大きさを比較してみよう。受験を思い出して落ちる恐怖が再来する人もいるかもしれない。ごめんしてください。

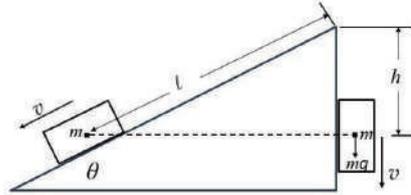


図1. 空中墜落と斜面滑落

衝撃の大きさの目安として、ここでは、運動エネルギーを検討する。運動エネルギーが大きければ、運動エネルギーが変換されて発生する熱のエネルギーも大きい。運動を停止させるため折れた骨の力学エネルギーも大きく、したがって、けがも大きいだろう。

質量 m の人が夏の雪渓を距離 l 滑落したとする。雪渓と人体の摩擦係数は実体験からわかるとおり小さい(0.1程度)ので、ここでは0と仮定し無視する。すると、滑落の開始地点から l 地点までに失った位置エネルギー mgh の大きさは l m地点で獲得している運動エネルギー $\frac{1}{2}mv^2$ の大きさに等しい。空中墜落(距離 h)を検討すると、何と、 $mgh = \frac{1}{2}mv^2$ 。すなわち図において、斜面の滑落速度 v は、空中墜落の落下速度 v と、その大きさが等しいのである。空中墜落の距離 h を真下に落ちたのではなく、斜めに滑ったので距離 l はより確実に大きい¹のだから、衝撃エネルギーは小さかろうとの上記の願望は、裏切られるはずであると物理学は導く。慣性質量と重力質量の違い、とか教えられたやつか。日常感覚は間違いで、物理学の予言が実際におきる。これが、夏の雪渓で滑って大けがをする人がいる理由だ。中川も実際にやられて、必死でハンマーを打ち、やっと止まった。物理が分かったのは後になってからだった。

2. 宇宙の山登り 墜落したら・・・？

大阪労山ニュース2018年11月号「山楽登山の世界8」で書いたように、宇宙での山登りに新たな冒険を見出す若者がいる。宇宙での山登り、どんなものだろう。火星には、オリンポス山21900 mという、それこそ、ど高い山(最高峰)がある。火星は地球より質量が小さいので、重力は地球の40%。体重も、みかけ40%に減って見える(偽りのダイエットにはいいかも・・・)。物理によれば、高さ h メートル墜落し、 t 秒後に地面に落ちたら、 $t = (2h/g)^{1/2}$ 、その時の衝突速度 v は $v = g t = (2gh)^{1/2}$ となる。地球の重力定数 $g_E = 9.8(m/s^2)$ 、火星の重力定数 $g_M = 3.9$ だから、同じ距離を落ちて火星での速度は地球での63%に減じる。

もっと小さい天体だと、天王星第5衛星ミランダは直径470kmと地球のわずか3.7%と小さく質量も小さいので、その重力定数も0.079と小さいことが知られている。地球で10m墜落したら墜落時間1.4秒、衝突速度は $v = 14$ m/s (時速50km/時)にも達するので、確保なしでは大けがは免れない。一方、ミランダで10m墜落したら、上の式から落下時間 $t = 16$ 秒、衝突速度は $v = 1.2$ m/s にしかならない。何ともゆっくり加速して、歩く速度にしか達しないのだ。こう聞くと、宇宙の山登りは安全でいいものかとも思うが、そもそも、約4%という小さな体重で、登山は、本当におもしろいのかなあ・・・。みなさん、どう思われます？

地形図を眺めていると、鯖江市の東端に小さな盆地があり、400m 前後の山々がその街を取り巻くように連なっている。時計回りに縦走できそうなので面白そうだと思った。

河和田町の神社の駐車場から取り付いた。登山道らしい階段があるがすぐ行き止まりで現在は使われていない。神社の階段を登ると、谷沿いの薄い踏み跡の山道となるが獣道に紛れて不明瞭。尾根に乗ると道は西に向かう。急な登りとなるがすぐに 271mの寺山に到着する。寺山からは穏やかな山道となり、植林と自然林が混在するが楽しく歩ける。

P329mのアカハゲ山から方向が北に変わる。急坂を標高差 70m ほど下り、コルから比較的穏やかな尾根を歩くと三角点のある水谷山 334mに到着する。この山も樹林に囲まれ展望はない。丁度昼なのでランチとする。

山頂から方向が東に変わるがすぐに北東に向かう尾根を歩く。複雑に方向が変化するので読図力がある。 快適な尾根道を鼻歌交じりで歩いていると突然左上空からザッザーと熊が木を滑り落ちたので先頭の H 女史が小さな悲鳴。全員恐怖で固まっていたが、熊は慌てて斜面に逃げていった。アベマキのドングリを食べていたのだろうか。

その後の休憩地でも H さんが土蜂の巣を踏み壊したのか蜂に攻撃され首筋を刺されて悲鳴をあげながら手を振るのでますます蜂が興奮している。彼女を巣から離れた場所に誘導し、傷口をポイズンリムーバーで毒液を 3 回ほど吸い出し水で洗浄する。身体状態を確認するが痛みはあるが吐き気や頭痛はなく歩けるというので登山を続ける。時折傷口を確認するが腫れてくる様子はなかった。

城山 404.4mには三角点があり北方面に展望があり越前海岸が見える。城山から尾根の方向は東に変わる。尾根にはアベマキやイヌブナ、コナラ、リョウブ、シデ類の大木が多く残され山深い印象で低山とは思えない。砥山までは思いのほか遠く感じる。

砥山 465mも樹林に囲まれ展望はない。休憩後 P 420mを目指す。このピークから尾根伝いに南に下る。送電線沿いなので上空を確認しながら尾花町まで下る。

道路にでると登山口の神社のある尾根が見える。ほぼ真つすぐ西に向かう道路をひたすら歩く。アスファルト道は足にひびく。

下山後、家でポイズンリムーバーを開けると血液は混じってないが、毒液の量は結構多かった。登山者の皆さん、ポイズンリムーバーを必ず携帯して下さい。

メンバ★三鍋 他 3 名 コース★河和田町 10:30～寺山 11:03 発 8～あかはげ山 11:23 発 30～水谷山 11:57 発 12:22～城山 13:31～砥山 14:40 発 45～下降点 15:08～尾花町 15:08～河和田町 15:16



提出日 _____

事故一報

提出者	氏名		会員番号		地方連盟	大阪府 勤労者山岳連盟
	団体名					団体番号

事故者	氏名		会員番号		年齢		性別	
------------	----	--	------	--	----	--	----	--

事故発生日時	年月日		時刻		<input type="radio"/> 有雪期	<input type="radio"/> 無雪期
---------------	-----	--	----	--	---------------------------	---------------------------

事故発生場所	山域		都道府県	
	山名	(標高 _____メートル)		
	場所			

山行の形態	
	手書きの場合は下記いずれかに○
	無雪期登山 積雪期登山 登攀 冬季登攀 沢登り 氷瀑 人工壁 山スキー クロスカントリースキー スノーボード 海外トレッキング 海外登山 訓練

事故の原因	
	手書きの場合は下記いずれかに○
	転・滑落 転倒 落石(落水) 道迷い 病気 凍傷 高度障害 火傷 落雷 雪崩 虫・動植物 荒天 その他 _____

パーティー人数		救助捜索費	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	ココヘリ加入	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
----------------	--	--------------	---	--------	---

事故の状況	
--------------	--

傷病名	
------------	--

交付申請の予定	<input type="radio"/> する <input type="radio"/> しない <input type="radio"/> 未定	全国労山に提出とともに、大阪労山にも提出して下さい。 jikotodoke@googlegroups.com Fax 06-6467-8545
----------------	---	---

交付申請書	受取人	<input type="radio"/> 基金担当者 <input type="radio"/> パーティーリーダー <input type="radio"/> 会・クラブ代表者 <input type="radio"/> その他					
	送付形式	<input type="radio"/> 書面の郵送 <input type="radio"/> PDFファイルのメール送信					
	送付先	氏名		会員番号		電話番号	
		郵便番号		住所			
メールアドレス(メール送付の場合は必須)							

★交付申請は、事故一報が**事故発生日から30日以内**に運営委員会に届いていなければできません。時効で交付資格を失わない為に、いま症状が現れていなくても、また交付の申請をするか判明しない時でも、事故発生の報告をしましょう。FAX 03-3235-4324 メール kikin@jwaf.jp

★**事故一報と共に、会に提出し受理された山行計画書のコピーを添付して下さい。**

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24 労山基金運営委員会 フリーダイヤル 0120-44-2742(平日10時～18時)

OWAF メーリングリストのご案内

大阪労山の公式のメーリングリスト（以下、OWAF-ML）のご紹介です。OWAF-MLには連盟行事、伝達事項の案内や、各種登山学校や訓練、講習会の案内などが流れています。その他各登山道の状況、アルプスの山小屋情報、各会入山情報など、相互の情報交換の場として利用されています。大阪府連の会員であればだれでも登録できますので是非ご加入ください。

● 登録方法

公式な ML なので、登録は原則として各会でまとめていただいております。各会の登録担当者までご連絡をお願いします。担当が分からない場合は直接登録いただいても構いません。

● 各会登録担当者様へ

各会、代表・事務局長・理事の方は登録必須とさせていただいています。登録担当者を含めて各役職に変更があった場合にもご連絡をお願いいたします。また退会された会員の方のアドレスもご連絡をお願いいたします。



● 登録申請フォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S91846322/>

登録申請フォーム

編集後記

先月の理事会で大切な発言が二つありました。一つは「ココヘリの優位性は分かっている。それにお世話にならないことが先決」。本当にそう思います。今から 12 年前。9/27 に 68 歳の大阪労山会員が六甲の西山谷で行方不明になりました。計画書もなく事故者の行動を所属会の方々が西山谷ではないかと推察。府連では救助隊のよびかけで、数回の捜索を行いました。結果、労山会員ではない方が 11/3 に遺体を発見したのです。この事故を発端に、大阪の救助隊の「捜索訓練」が毎年開催されることとなりました。遭難しないための啓蒙…その大切さを発言者の中尾さんは強調されました。二つ目は、ダイトレ総括への意見です。参加率表が現在のクラブ人数ではなかったのもそれは正してほしいと…。会員の過半数が要員に参加しているくすのき山遊会の田中さんの発言です。そして「ダイトレは、総会や議案で、そして理事会で何回も大阪労山の柱となる行事だと皆で確認しているのに要員も参加もゼロの会がいくつもあるのは問題」としめくくりました。決め合って守り合って支え合ってこそ連盟の活動は成り立ちます。（高橋明代）

今月も各会より会報を送っていただきました。

きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぽんぽん山（高槻）、こもれび通信（山の会こもれび）、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）

発行日 2023 年（令和 5 年）12 月 18 日 No.454（2024 年 1 月号）

編集・発行 笠井、園、高橋、中井、中尾、大西

